

暑中お見舞い申し上げます



大崎町長 東 靖 弘

連日、厳しい暑さが続いておりますが、町民の皆様方にはお元気で過ごしてのこととお喜び申し上げます。

本年は、梅雨の期間中の雨も少なく、また、六月には二つの台風が相次いで接近しましたが、幸いなことに、水稲や施設園芸など農作物等への被害も少なく、ひと安心しているところでございます。

しかしながら、災害のシーズンはまだこれからですので、引き続き今後も十分な警戒をしてください。

■行財政改革の推進

五月十六日に実施された『大崎町の合併についての意思を問

う住民投票』の結果、大崎町は『単独』を選択しました。今回の住民投票につきましては、町民の多くの方々が『大崎町の将来について真剣に考え、それぞれの考えに基づいての投票の結果』でありますので、この結果を真摯に受け止め、今後の町政を進めてまいりたいと思っております。

町立菱田保育所は四月一日から運営を民間に移管しました。近年、保育ニーズが多様化し、より柔軟な対応が求められていることに対するものです。保育所に限らず、民間的経営手法を取り入れたほうが効率的と思われるものは、適当な関与を残しながら、民間への移管を進めてまいります。

■民間的経営手法の導入

の秋に完成いたします。この民間資本を活用した住宅政策は、定住化対策のひとつとして取り組んできたものであり、本町にとつて非常に有効な政策であると考えます。

■大崎中央大橋

大隅中央区域農道の大崎中央大橋が連結し、この事業の橋梁の中で最も長い二百八十メートルの橋が出現しました。この農道は、鹿屋を基点として、串良・大崎・有明・志布志を東西に横断する物流促進の要として

行財政全般にわたる改革を進めながら、大崎町全体の活力の原動力となつていく政策を積極的に進めてまいりたいと考えています。

皆様には、くれぐれもご自愛くださるようお願いいたします。暑中の挨拶といたします。

平成十六年 盛夏

大崎町長
他職員一同

第一は、町民の皆様から『行財政改革に対する提言や意見』をいただくことにしています。第二に、町長の諮問機関として、公募と選任による住民代表十人の委員からなる『行政改革調査専門委員会』を設け、徹底した行財政改革を進めてまいります。

第三として、町職員で構成する『行政改革推進本部』を設置し、全職員が『行財政改革に対する提案』を出せるような環境を整えてまいります。

■定住促進

一月に着工した定期借地権付分譲マンションは、いよいよこ



整備されているもので、十月に完成予定です。橋の下には持留川が流れ、広大な水田地帯が広がった場所で、橋から水田までの高さは三十八メートルあり、新たな観光資源としても脚光を浴びるものと思われれます。